

平成 29 年 2 月 10 日

特 別 区 長 会
東 京 都 市 長 会
東 京 都 町 村 会
公 益 財 団 法 人 特 別 区 協 議 会
公 益 財 団 法 人 東 京 市 町 村 自 治 調 査 会

オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

「平成 29 年度実施事業」について

東京におけるみどりの保全や地球温暖化防止対策に連携・共同して取組むため、都内の 6 2 市区町村はオール東京 6 2 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を平成 19 年度から実施しております。

過日開催されました共同事業推進会議において、平成 29 年度に実施する事業の詳細が決まりましたので、平成 28 年度の事業実績と併せてお知らせいたします。

【資料】

- 1 平成 29 年度 オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」主な取組
- 2 平成 29 年度 オール東京 6 2 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業計画
- 3 平成 28 年度実施事業について

資料 1

資料 2

資料 3

【問い合わせ先】

※各事業で担当が異なります。

別添資料 2 の平成 29 年度事業計画一覧の問い合わせ先欄をご参照下さい。

特別区長会事務局 調査第 1 課長 菅野
電話 03-5210-9737

東京都市長会事務局 企画政策室長 安達
電話 042-384-6396

東京都町村会事務局 事業課長 大房
電話 042-384-8041

公益財団法人特別区協議会 事業部副参事 齋藤
電話 03-5210-9915

公益財団法人東京市町村自治調査会 事業部長 村松
電話 042-382-7781

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」ホームページ
<http://all62.jp/>

平成 29 年度 オール東京 62 市区町村共同事業

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

主な取組

■ 日本最大級の環境展示会「エコプロ 2017」に出展します。

毎年 12 月に東京ビッグサイトで開催される日本最大級の環境展示会「エコプロ」に、都内 62 市区町村の希望する自治体とともに出展し、当プロジェクトの取組や自治体の環境施策などを広く発信、紹介します。

平成 23～28 年度は、参加自治体の積極的な参加により盛会となり、来場のお客様からもご好評をいただきました。「エコプロ 2017」への出展は、この 6 年間で得たノウハウを生かし、自治体職員が連携して東京の自治体ならではの取組を多くの人にわかりやすく伝えるブースを企画します。

(資料 2 事業計画一覧 ④エコプロ 2017 への出展)

■ 62 市区町村の生物多様性地域戦略策定を支援します。

平成 27 年度から 3 年間の継続事業として、自治体が単独または共同による「生物多様性地域戦略」(以下「地域戦略」という。)の策定や改訂を検討するにあたって参考となる「地域戦略検討モデル」(以下「検討モデル」という。)を作成します。本検討モデルを踏まえた「地域戦略ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)の作成や自治体への支援等を行うことで、自治体が早期に地域戦略を策定することや事業を実施すること等を研究面から支援・推進します。

3 年目の平成 29 年度は研究会最後の年となります。引き続き研究会や見学会の開催、ワークショップを重ねることで、検討モデルを踏まえ、ガイドラインの作成に向けて研究会を継続していきます。

(資料 2 事業計画一覧 ⑤生物多様性の保全に関する研究)

■ 「みどり東京フォトコンテスト」を実施します。

本フォトコンテストは、写真という身近な媒体を通して、東京のみどり・自然の美しさを都民に再評価していただくとともに、みどりの保全に関する意識の向上を図ることを目的としています。

応募作品のうち上位入賞作品は、「2018 年みどり東京フォトコンテストカレンダー」に使用し、都内全市区町村に配布するとともに、福祉施設等にも寄贈を行い、見る人の心を癒す社会貢献にもつなげていきます。

年間を通して、四季折々の美しい都内の風景を皆様に見ていただき、撮影された場所に足を運んでもらうことも狙いの 1 つとしています。

(資料 2 事業計画一覧 ⑦みどり東京フォトコンテストの実施)

平成 29 年度 オール東京 6 2 市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業計画

1 平成 29 年度事業の基本的な考え方

東京の基礎自治体である 62 市区町村は、平成 19 年度から「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を立ち上げ、共同・連携して様々な取り組みを行ってきた。

平成 29 年度は、これまでの事業の検証及び今後の事業の検討をもとに、国の環境施策の動向等を踏まえながら、より効果的な事業を実施していく。

2 平成 29 年度事業計画一覧

事業名	主な事業内容	区分	3つの行動			問い合わせ先
			普及啓発	連携体制構築	行動の場づくり	
① 共同事業普及・啓発 ～物品配布から成果の共有まで～	○環境負荷低減活動など、オール東京 6 2 市区町村共同事業の普及・啓発を行うため、啓発物品の作成、配布等を行う。 ○一部の市区町村の実施する「グリーンカーテンコンテスト」の他自治体への推奨を図る。	継続	○		○	町村会
② 標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定し、その結果を公表する。 ○市区町村ごとのデータ分析を積み重ねる。	継続	○	○		特別区協議会 自治調査会
③ 各団体の実施する事業との連携	○62市区町村の実施事業に、1 市区町村 100 万円を限度として助成する。 ○各自治体の成果をホームページ上でPRしていく。	継続	○		○	特別区協議会 自治調査会
④ エコプロへの出展	○オール東京 6 2 市区町村共同事業及び市区町村の実施している環境施策をエコプロへ出展する。	継続	○	○		特別区協議会
⑤ 生物多様性の保全に関する研究	○生物多様性に関する講演会や見学会、及び研究会等を実施することにより、市区町村の生物多様性地域戦略の策定を支援する。 ○積極的に自治体間の情報共有の場を設定する。	継続	○	○		自治調査会
⑥ ホームページの維持管理・コンテンツの充実	○HP「ECOネット東京 6 2」を適宜更新し、「エコニュース」「エコアカデミー」等のコンテンツを充実させて、オール東京 6 2 市区町村共同事業の普及・啓発に努める。	継続	○	○	○	特別区協議会
⑦ みどり東京フォトコンテストの実施	○東京のみどり・自然の美しさを再認識し、みどり保全に関する意識向上を図るため、東京の自然をテーマにフォトコンテストを実施する。 ○入賞作品を題材としたカレンダーを作成・配布し、本プロジェクトの趣旨を広く普及・啓発していく。併せて福祉施設に入賞作品を寄贈し、見る人の心を癒す社会貢献事業にもつなげていく。	継続	○		○	市長会
事業費合計			1億4,630万円			

平成 28 年度実施事業について

1 CO₂削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制

(1) 共同事業普及・啓発

- ・「ゴーヤ・アサガオの種」を各自治体に配布

(2) 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

- ・62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定・公表

2 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

(1) 各団体の実施する事業との連携

- ・62市区町村が実施する自然環境保護や地球温暖化防止事業に助成金（上限100万円）を交付

(2) エコプロ2016への出展

【出展内容】 オール東京62市区町村共同事業及び各市区町村の実施している環境施策

【期 日】 平成28年12月8日～10日

【会 場】 東京ビッグサイト

【出展自治体】 46自治体

(3) 生物多様性の保全に関する研究

- ・講演会、研究会、見学会等の実施
- ・地域戦略検討モデルの作成
- ・研究会参加自治体：44自治体

3 人々が環境を考え、行動できる場の設定

(1) ホームページの維持管理・コンテンツの充実

- ・オール東京62市区町村共同事業の普及・啓発を実施

(2) みどり東京フォトコンテストの実施

- ・東京の自然をテーマとしたフォトコンテストを実施
- ・上位入賞作品を使用したカレンダーの作成、配布

このオール東京62市区町村共同事業は、主催を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会が、企画・運営を(公財)特別区協議会・(公財)東京市町村自治調査会が担当しています。

○ **特別区長会 会長 西川 太一郎 (荒川区長)**

東京23区長で構成。特別区に共通する課題についての連絡調整及び調査研究、特別区の自治の発展を図るために必要な施策の立案及び推進などの活動を行っている。

事務局：特別区長会事務局 [千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館]

○ **東京都市長会 会長 並木 心 (羽村市長)**

東京26市長で構成。多摩の各市間の連絡調整を図り、市政の円滑な運営と向上を期し、地方自治の発展に寄与することを目的としている。

事務局：東京都市長会事務局 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

○ **東京都町村会 会長 河村 文夫 (奥多摩町長)**

東京13町村長で構成。町村会間の連絡、調整や地方自治についての調査研究などを行うことで、地方自治の振興、発展を図ることを目的としている。

事務局：東京都町村会事務局 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

○ **(公財)特別区協議会 理事長 西川 太一郎 (荒川区長)**

特別区における円滑な自治の運営とその発展とを期するため設立された公益法人として、特別区の自治に関する調査研究、情報提供、講演会の開催、東京区政会館の経営などを行っている。 [千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館]

○ **(公財)東京市町村自治調査会 理事長 並木 心 (羽村市長)**

多摩・島しょ地域の自治の振興を図り、住民福祉の増進に寄与することを目的とした市町村共同の行政シンクタンクとして、調査研究・情報提供・共同事業・市民交流活動の支援などを行っている。 [府中市新町2-77-1 東京自治会館]

オール東京62市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言

かけがえのない地球を守ろう ～一人ひとりの力をつないで～

私たちの暮らす東京は、人口1,280万人を抱える世界有数の都市でありながら、多摩の山並み、武蔵野の雑木林のみどり、伊豆諸島・小笠原諸島周囲の美しい海原など、多様な自然環境を有しています。

一方、東京は人口や経済活動が集積し、資源やエネルギーの大量消費地としてCO₂の大量排出、ヒートアイランド現象、森林の荒廃、海洋汚染などさまざまな環境問題にも直面しています。

特に暮らしと密接な関係にあるCO₂は、オフィスや家庭でのエネルギー消費量が増大し、京都議定書の発効から2年経った現在でも、削減の兆しが見えない危機的状況にあります。

今こそ、私たちは、地球環境問題の被害者であり加害者でもあることを改めて認識し、一人ひとりの力をつないで、東京そして地球の環境を守るため、できることから行動するときです。

東京62市区町村は、かけがえのない地球を守るために、連携・共同して「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開し、次の行動を起こすことを宣言します。

- 一、 CO₂削減につながる活動の普及に努め、省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- 一、 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制を構築します。
- 一、 人々が、環境を考え、行動できる場を作ります。

2007年10月3日

1

オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止
プロジェクト

平成28年度事業報告



①共同事業普及・啓発

ゴーヤ・アサガオの種の配布（合計86,000袋）



ゴーヤ
(大玉二尺レイシ)



みどり

オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

グリーンカーテンで
温暖化を防ごう!

主 催 / 特別区委員会 東京都庁委員会
東京都福祉会
全都一連村 / 33区特別区協議会
環境庁東京府自治体協議会

ECOネット東京62
みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ <http://62net2.jp/>
育て方の詳細につきましては、上記ホームページをご覧ください。

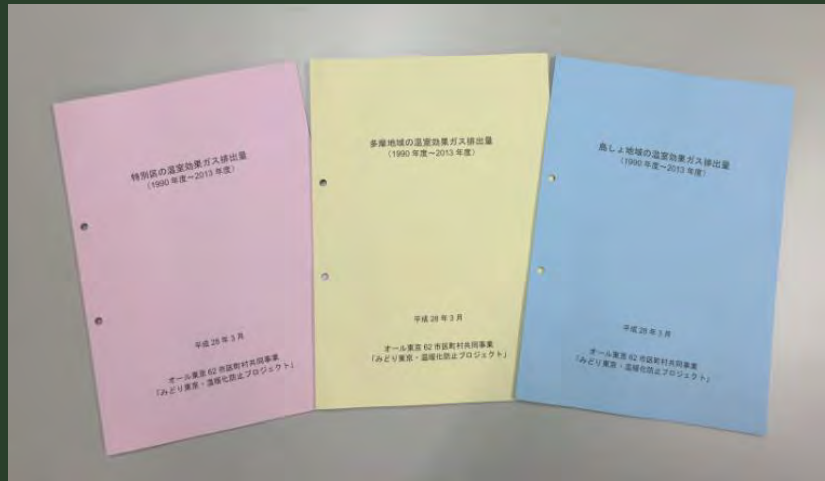
あさがおの楽しい作り方

- 種をまく時期**
種まきの時期は5月～6月です。
気温が20℃以上になると、アサガオの種はよく育ちます。
- 種とプランターの準備**
アサガオの種は種から取り出し、よく洗って乾かします。プランターは、排水孔が通るよう準備してください。
- 種まき**
プランターに土を入れ、種をまきます。種まき後は、水をたっぷりと与えます。
- ネットの張り方**
アサガオの蔓はネットを這う性質があります。ネットは、アサガオの成長に合わせて張り替えてください。
- 水やり・肥料**
アサガオは水が大好きです。毎日水をたっぷり与えてください。また、アサガオは肥料もよく吸収します。
- 収穫**
アサガオの収穫は、実が十分に大きくなったときです。収穫後は、種を採取して再利用できます。

←ECOネット
東京ホーム
ページに掲載

② 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

温室効果ガス排出量 (1990年度～2014年度) の算定・公表



(写真左から、特別区、
多摩地域、島しょ地域)
※写真は1990年度～2013年度版

I 各区の温室効果ガス排出量の推移

1. 23区の温室効果ガス排出量の推移

表 3-1 23区における温室効果ガス排出量の推移 (単位: 1000tCO₂e)

区	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
千代田区	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表 3-2 23区における部門別二酸化炭素排出量の推移 (単位: 1000tCO₂e)

区	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
千代田区	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表 3-3 島しょ地域における温室効果ガス排出量の推移 (単位: 1000tCO₂e)

島しょ地域	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
島しょ地域	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表 3-4 多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移 (単位: 1000tCO₂e)

多摩地域	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
多摩地域	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

表 3-5 島しょ地域における部門別二酸化炭素排出量の推移 (単位: 1000tCO₂e)

島しょ地域	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
島しょ地域	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

Figure 3-1: Bar chart showing the trend of greenhouse gas emissions in Special Zones from 1990 to 2014. The Y-axis represents emissions in 1000tCO₂e, ranging from 0 to 60,000. The X-axis shows years from 1990 to 2014. Emissions show a general downward trend with some fluctuations.

Figure 3-2: Stacked bar chart showing the trend of greenhouse gas emissions by sector in the Tamaki Region from 1990 to 2014. The Y-axis represents emissions in 1000tCO₂e, ranging from 0 to 160. The X-axis shows years from 1990 to 2014. The sectors are: 運輸業 (Transportation), 製造業 (Manufacturing), 建設業 (Construction), 卸売業 (Wholesale), 小売業 (Retail), 飲食業 (Food and Beverage), 宿泊業 (Accommodation), 娯楽業 (Leisure), 教育業 (Education), 医療業 (Healthcare), 福祉業 (Welfare), 公共事業 (Public Administration), and 家庭部門 (Household). The total emissions show a downward trend.

Figure 3-3: Stacked bar chart showing the trend of greenhouse gas emissions by sector in the Iseki Region from 1990 to 2014. The Y-axis represents emissions in 1000tCO₂e, ranging from 0 to 160. The X-axis shows years from 1990 to 2014. The sectors are the same as in Figure 3-2. The total emissions show a downward trend.

市区町村が実施する事業に助成金
(上限100万円)を交付。



水辺の楽校



環境フェスティバルの開催



森林環境整備



緑化推進



家庭での省エネ推進

④エコプロ2016への出展

MIDORI TOKYO MUSEUM

入場無料!

みどり東京 オール東京62
フォーギアム

山から、まちから、島から～エコ活動の博物館～

2016年
12/8(木)/9(金)/10(土) オール東京62市区町村共同事業
10:00～18:00 [最終日は17:00まで] 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
会場 東京ビッグサイト エコプロ2016



ステージショー



自治体ブース



ワークショップ

⑤生物多様性の保全に関する研究



公開講座（講演会）



見学会



研究会




先進事例視察

⑥ホームページの維持管理・コンテンツの充実

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ「ECOネット東京62」

トップページ

環境レポート(活動紹介・環境事業紹介・トピックス)・エコアカデミー

ECOネット東京62  オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

Google®カスタム検索 検索 

トップページ お知らせ イベント 環境レポート エコアカデミー コ質問箱 みどり東京温暖化防止プロジェクト

誰もがいつでもCO2削減をはじめとする環境負荷低減活動に参加できるために…

東京都内の全62市区町村が連携して取り組んでいる「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のホームページです。

みどり東京
温暖化防止
プロジェクト



プロジェクトの詳細を見る



*シーナとかれんはみどり東京・温暖化プロジェクトのイメージキャラクターです。

新着情報お知らせ

新着情報お知らせ一覧へ

各62市区町村のホームページから集めたエコ情報を掲載しています。

外部リンク

2016年12月27日 [オール東京62](#)

- [かれんとシーナのエコ質問箱「質問11: 生きものトランプで地域の生きものたちのヒミツを知る」を掲載しました。](#)

2016年12月27日 [オール東京62](#)

- [エコアカデミー第64回「仮想発電所」構想始動！公民連携で展開します\(横浜市\)を掲載しました。](#)

2016年12月26日 [オール東京62](#)

- [活動紹介\(第79回\)「海に囲まれた島国・日本だからこそ、海や魚のことをきちんと知って、かかわる人たちの思いに繋げる学習を進めたい\(中野区立中野本郷小学校の「ぼんぼく学習」\)」を掲載しました。](#)

イベントカレンダー

2017年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新着イベント

外部リンク

環境レポート エコに関する最新情報を発信しています。



活動紹介

活動紹介一覧へ

● **第79回** 海に囲まれた島国・日本だからこそ、海や魚のことをきちんと知って、かかわる人たちの思いに繋げる学習を進めたい(中野区立中野本郷小学校の「ぼんぼく学習」)
東京・小田原の内線の新中野駅から徒歩5分ほど、商店街を抜けていくと中野区立中野本郷小学校の校舎が見えてくる。登校の子どもたちと1つしよに校門をくぐり、芝生が青々と広がる校庭を横切ると校舎に入る。寒月寒日、ある土曜日の朝に実施された公開授業に参加するため、保護者と一緒に歩いて記念し、家庭科教室に向かう。1限目と2限目に4年生2クラスが入れ替わりで「ぼんぼく学習」をするというので見学させていただいた。 [\[続きを読む\]](#)



トピックス

世界・国・東京都の動きをはじめ、環境に関する情報を発信します

トピックスページへ



環境事業紹介

環境事業紹介一覧へ

● **第60回** 日野市: 節日の10年目に向けて、着段者のまま不燃の取り組みとなることをめざす(ふだん着でCO2をへらそう宣言)
日野市の「ふだん着でCO2を減らそう宣言」は、平成20年度から24年度までの5か年事業として始まったもので、「着段をはるこなく、決して無理をせず、一人ひとりが毎日のくらしの中で、地道にこつこつと進め続けること」を目標としていくという。「着段」と「不燃」の意味を込めた取り組みとして、平仮名の「ふだん着」を当てている。 [\[続きを読む\]](#)

エコアカデミー 毎月1回 環境に関する専門的・有識者の講話や海外の事例を紹介しています。

エコアカデミー一覧へ



第64回
横浜市環境化対策推進本部プロジェクト推進課長
岡崎 修司
「仮想発電所」構想始動！公民連携で展開します(横浜市)



第65回
海外事例
カーフリー・ワシントン
車を使わない集合住宅について
「環境」をテーマにした、ワシントン市



第66回
海外事例
森林総合研究所フェロー
自然環境研究センター客員研究員
福山 朝二
「自然」をテーマにした、研究のすゝめ



第67回
海外事例
国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 主任研究員
堀口 敏宏
「環境」をテーマにした、研究のすゝめ



第68回
海外事例
「エネルギー消費正味ゼロ」の目標: プレミアム市、ケベック州、カナダ



第69回
海外事例
「エネルギー消費正味ゼロ」の目標: プレミアム市、ケベック州、カナダ

⑦みどり東京フォトコンテストの実施

- 東京の魅力がいっぱい詰まった作品
3,515枚の応募があり、厳正な審査の
結果、55作品が入賞しました。

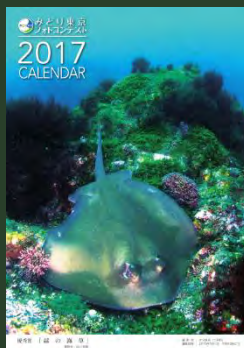


入賞55作品



審査会の様子

- 上位入賞作品を題材としたカレンダーを作成し、市区町村等への配布を通じ、本プロジェクトの趣旨の普及・啓発に努めました。



2017年
カレンダー